



めいしょう 206号

だより



蝉の声が聞こえてくる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も早いことに半ばを過ぎてしまいました。遠く近くでお囃子の音が聞こえ始めています。果たして今年も織姫と彦星は会えるのでしょうか…

2019花火大会情報

今年も花火大会日程特集です！都内・明昭施設周辺の花火大会情報をチェックして、是非夏を満喫に行きましょう♪

- 7/20(土) 足立の花火(東京都足立区)
- 7/23(火) 葛飾区納涼花火大会(東京都葛飾区)
- 7/27(土) 越谷花火大会(埼玉県越谷市)
- 7/27(土) 隅田川花火大会(東京都台東区)〈曳舟駅・浅草橋駅周辺〉
- 7/28(日) さいたま市花火大会(さいたま市北区)
- 8/1(木) 江東花火大会(東京都江東区)
- 8/3(土) 江戸川区花火大会(東京都江戸川区)
- 8/3(土) いたばし花火大会(東京都板橋区)
- 8/3(土) 草加市民納涼花火大会(埼玉県草加市)
- 8/3(土) 戸田橋花火大会(埼玉県戸田市)
- 8/3(土) 松戸花火大会(千葉県松戸市)
- 8/3(土) 市川市民納涼花火大会
(千葉県市川市・東京都江戸川区合同開催)

新しい仲間が入りました



名前*谷浦 正彦

出身地*埼玉県
趣味*スポーツ観戦
一言*これまで営業に携わってきた経験を活かし、施設の営業・PRに努めて参ります。「明昭の施設でよかった」と思っ頂けるよう頑張ります。宜しくお願い致します。



名前*小野上 英樹

出身地*大阪府
趣味*草野球
一言*誠実に日々の仕事に励みます。宜しくお願い致します。
明昭本社営業部に2名の男性スタッフが
入りました♪宜しくお願いします😊

7月27日(土)は、土用の丑の日



夏に食べるイメージが強いうなぎですが、実は旬は夏ではないことをご存知でしたか？天然もののうなぎの旬は初冬なのです。水温が下がり始めるころにうなぎは産卵の準備の為、エサを豊富に食べ、太り、脂も乗った状態になるのです。ではなぜ「夏にうなぎを食べる」ようになったのでしょうか？これは、一説によると江戸時代に暑くてうなぎの売れ行きが悪く困っていたうなぎ屋さんが、平賀源内に相談したことから始まったそうです。江戸の大天才として有名な平賀源内は、このピンチに対して「本日、土用の日、うなぎの日」という張り紙をお店に貼る作戦を立てました。すると…狙い通りうなぎが飛ぶように売れたというわけなのです。元々、丑の日に「う」のつく食べ物を食べるという風習があったので、うなぎがハマリ、今まで続いているのです。また、夏の土用の時期は夏バテしやすい時期でもあり、精のつくものを食べて暑い時期を乗り越えようという考えは、今も昔も変わらないようです。